

2016年9月23日  
SMBC日興証券株式会社

### 2016年度秋季部店長会議 清水社長 発言要旨

上期は引き続き厳しい業務環境でしたが、皆さまの奮闘に、改めて感謝いたします。

まず、今年度の主要な施策の進捗状況についてお伝えします。「戦略的な人員配置」については、このたびの人事異動でも営業部門への人材配置を継続しました。次に、「収支改善」についても、一定の成果をみせています。今後とも、経費削減は進めますが、トップラインの収益を伸ばすために必要な投資については、費用対効果の検証をしたうえで積極的に行い、当社の成長を継続させていきます。

さて、当社は本年10月からSMFGの直接子会社になる予定です。私は、当社がSMBCと共に、SMFGのツインターボエンジンの一翼を担うつもりだということを、常々お伝えしてきました。引き続き、名実共に、SMFGのツインターボエンジンになることを目指します。

また、再来年の1月に向けてSMBCフレンド証券との統合を予定しています。これは、SMFG内の証券会社2社を統合し、SMFGとしての証券ビジネスを更に強化し、競争力向上を目指してのものです。両社それぞれの強みを認識し、良いところを学び合い、お互いをリスペクトする気持ちを持って、統合に向けて準備を進めていきましょう。

来年度からは、新たな中期経営計画がスタートします。当社は、現在の中期経営計画においても「本邦No.1の総合証券会社を目指す」との目標を掲げています。来年度以降もこれまでと同様に、「業界トップ」になることが最終的な目標であることは変わりません。その最終目標へのステップとして、次期中期経営計画では、最終年度である2019年度に「圧倒的な2位となり、本邦No.1を狙える地位を確立する」ことを目指します。

私が目指す強い会社は、全役社員が会社全体の目標に向かって、突き進むことができる会社です。そのためには、「組織としての対応力」と「組織マネジメント」が重要です。全役社員が当社の「ビジョン」をしっかりと共有し、それぞれがビジョン達成に向けて「ミッション」を果たしていくために、部店長の皆さまが「リーダーシップ」を発揮されることに期待しています。

以上